

# なかがわ

広報

2015.5



町のイメージキャラクター  
「なかちゃん」



No.116

- 道の駅ばとうリニューアルオープン 2
- 入学おめでとう 3
- 農業委員会委員選挙のお知らせ 4
- 役場窓口業務延長のお知らせ 6
- 犬の登録及び狂犬病予防注射日程 7

## 入学おめでとう 馬頭西小学校入学式



## 春季特別展「夏まで待てない!江戸のお化け・妖怪展」



「形見草四谷怪談」歌川周延画 個人蔵

「四谷怪談」は日本で最も有名な怪談の一つです。

夫、伊右衛門に裏切られ、顔の崩れる薬を飲まされて憤死したお岩さんの霊がその復讐をとげる話ですが、その間に伊右衛門のまわりではたくさんの方が死んでいきます。

この恐ろしい「四谷怪談」は、実話に基づいて作られたものです。現在の犯罪と重なるところも多く、人間の心の闇について改めて考えさせられます。江戸時代にたびたび語られた怪談は、悪いことをするといずれ自分に帰ってくることを教え、道にそれたことをしないようにという戒めになっていたのでしょう。

「四谷怪談」は、1825年に、「東海道四谷怪談」として歌舞伎で上演されました。図は、その一場面、「蛇山庵室の場」を描いたものです。

歌舞伎では、伊右衛門は迷い込んだ家で美しい女主人にもてなされます。しかし、その女主人の顔はいつしかお岩さんの顔になっていました。さらに庭のかぼちゃもみんなお岩さんの顔になっていきます。そして、「提灯抜け」と呼ばれる最大の見せ場では、提灯の中からお岩さんが出現するのです。

この浮世絵は、仕掛け絵になっていて、提灯を開くとお岩さんが現れます。歌舞伎の「提灯抜け」を表現したもので、開けたり閉めたりして遊べるようになっています。

「夏まで待てない!江戸のお化け・妖怪展」では、前期後期を通して「四谷怪談」を描いた作品を多数出品します。「戸板返し」や「提灯抜け」など、「東海道四谷怪談」の名場面を浮世絵でお楽しみ下さい。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井裕子

### 【会 期】

前期:~5月17日(日)

後期:5月22日(金)~6月21日(日)

### 【ミュージアムトーク(展示解説)】

5月23日(土) 午後1時30分~ 当館学芸員

【休館日】 月曜日、祝日の翌日

【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで  
(但し入館は午後4時30分まで)

【入館料】 大人 700円(630円)  
高・大学生 400円(360円)

※( )は20名以上の団体料金。

※中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額



### 平成26年度

## 那珂川町観光写真コンテスト受賞作品

入選 「花風」 和泉 一雄さん(小川)

撮影場所:小砂

「日本で最も美しい村」をテーマとして撮影したもので、田園、花、鯉のぼりを入れ、美しい村を表現しました。

